

#08034083

文学部英語英米文化学科

武内麻由子

海外ボランティア活動報告書

～カナダ バンクーバー7日間 デイケアセンターインターン

<主催機関>国際協力 NGO ボランティアプラットフォーム

<渡航先>カナダ バンクーバー

<期間>2011年9月4日～9月11日

<受入団体>Shaughnessy Daycare

生徒数 40人くらい

年齢 3歳～5歳



<Shaughnessy Daycare での活動>

・1日の流れ

9:00 出勤

～10:00 サークルタイム、子供たちと遊ぶ（粘土遊び、お絵かき、おままごと、人形遊び）
+午後のお昼寝の時にマット・シーツ・毛布・ぬいぐるみを別室にセット。

10:00 朝の挨拶。歌を歌ってその日の日付、曜日、天気を皆で確認。
その後、おやつ準備。食べ終わった子から順番にトイレに連れていく。
必ず全員が済ませたことを確認し、子供たちを下駄箱へ誘導。

11:00 外履きに履き替え、外に出る準備を整える。
子供たちと手を繋いでデイケアを出発。
外遊び。（公園に行き遊び、近場をお散歩）

11:45 デイケアに戻って来て、昼食の準備。
（ご飯を温める、フルーツを切る、牛乳を用意する等）

- 12:00 昼食。
食べ終わった子から自由時間。(片付け、洗い物、食べこぼしの掃除)
- 12:45 子供たちを集め、ストーリータイム。
絵本を一冊読み聞かせる。質疑応答。
- 13:00 お昼寝タイム。
皆が寝た頃に部屋を出て、教室内の掃除。
(床を掃き掃除、椅子・机の拭き掃除、おもちゃ・本棚・事務室の整理、洗い物、洗濯等)
- 15:00 子供たちを起こして、マット・シーツ・毛布・ぬいぐるみを片付ける。
トイレに順番に連れて行き、その後おやつ準備。
全員揃ったら、おやつタイム。
- 15:30 食べ終わった子からサークルタイム、自由時間。
おやつのお皿類の洗い物を終わらせて、子供たちと遊ぶ。
16:00 頃に授業を終えた小学生を迎えに行くことも。
- 16:30 デイケアに来た小学生と近くの公園で遊ぶ。(鬼ごっこ、ぶらんこ、鉄棒等)
- 17:30 デイケアに戻って来て、勤務終了。



<参加動機>

就職活動を終え、学生最後の夏に何か新しい経験をしたいと夏前からずっと考えていました。初めは大学で行っている1カ月間のイギリス短期留学を検討していたのですが、もともと積極的な方ではない私の場合、周りに日本人がいると躊躇してしまって、結局英語をほとんど使うことなく帰って来てしまうのではないかと不安がありました。そんな時に見つけたのがこのボランティアプラットフォームでした。もともと子供が大好きで日本の保育園でお手伝いをしていた経験もあったことから、海外の保育園で子供たちと触れ合うことができ、保育士の方々のお手伝いができるこの活動に大変魅力を感じました。また、ホームステイなので英語を使う機会も多く、ホストファミリーとの会話を通して英語力も高められるのではないかと感じ、学生生活最後の夏にこのボランティアに参加することを決めました。

<感想>

この経験を通じて一番感じたことが「人の温かさ」です。海外でのボランティア経験が初めてだった私は、子供や先生たち、ホームステイ先の方々と上手くやっていけるかどうか、行く前から不安でいっぱいでした。しかし、皆さん本当に温かく迎えてくれ、最高の経験をすることができました。保育園の先生たちは気さくで明るく、何も分からない私に優しく丁寧に指導して下さいました。子供への接し方では尊敬できる部分がたくさんあり、仕事に対する姿勢というものを勉強することができました。子供たちもとても元気で明るく、素直な子ばかりでした。一緒に遊んでいる中で、子供たち一人一人の個性がみえてきて、慣れてきてからはそれぞれにあった対応を自分なりに工夫してみたりしていました。また、ホームステイ先のファミリーもたった一週間の滞在だったにも関わらず、本当に優しく温かく接して下さいました。保育園での活動の後に観光に連れて行ってくれたり、夜ごはんを食べながら長時間一緒に話をしてくれたり、同じようにホームステイしていた大学生の子には、夜散歩に連れて行ってもらったりもしました。私がダウンタウンからの帰り道、迷子になった際も我が子のように心配してくれて、すぐに車で迎えに来てくれました。英会話の面では、ホストファミリーや他の留学生たちに積極的に話しかけ、自分のボキャブラリーの少なさ、表現力のなさを痛感すると同時に、もっと英語力を高めて自分の感情や思ったことをそのまま表現できるようになりたいと強く感じました。また、やはり英語が好きなのだのと再認識する機会にもなり、英語学習への意欲も高まりました。この活動が意義のある非常に良い経験になったのも周りの方々のおかげだと痛感しています。この経験を活かして、英語学習に今まで以上に力をいれて取り組み、また春に今度はオーストラリアに何週間か行きたいと考えています。

